

2020/11/2

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

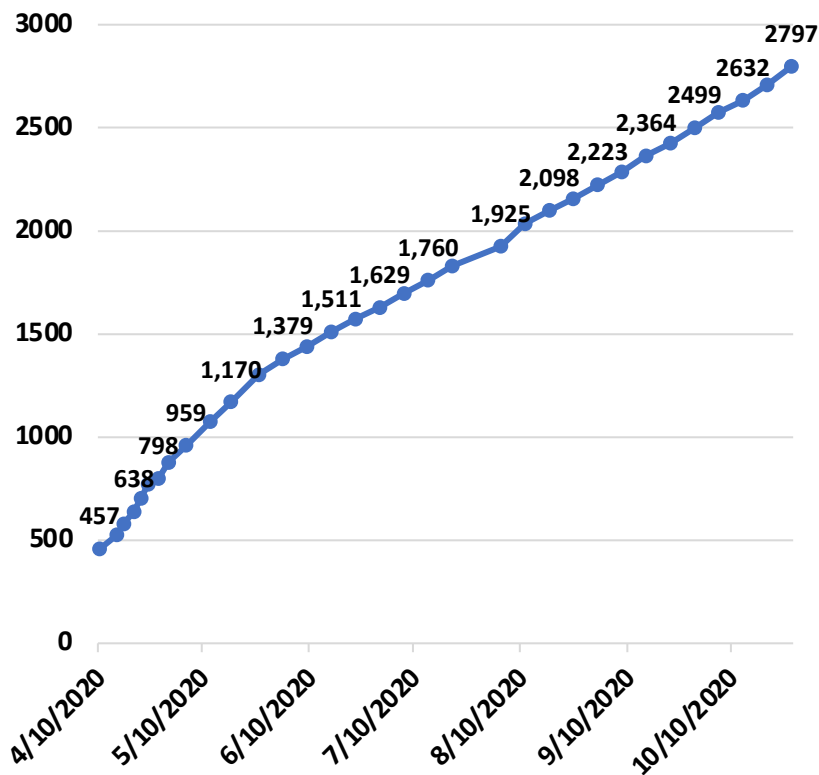
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on Oct /31/2020.

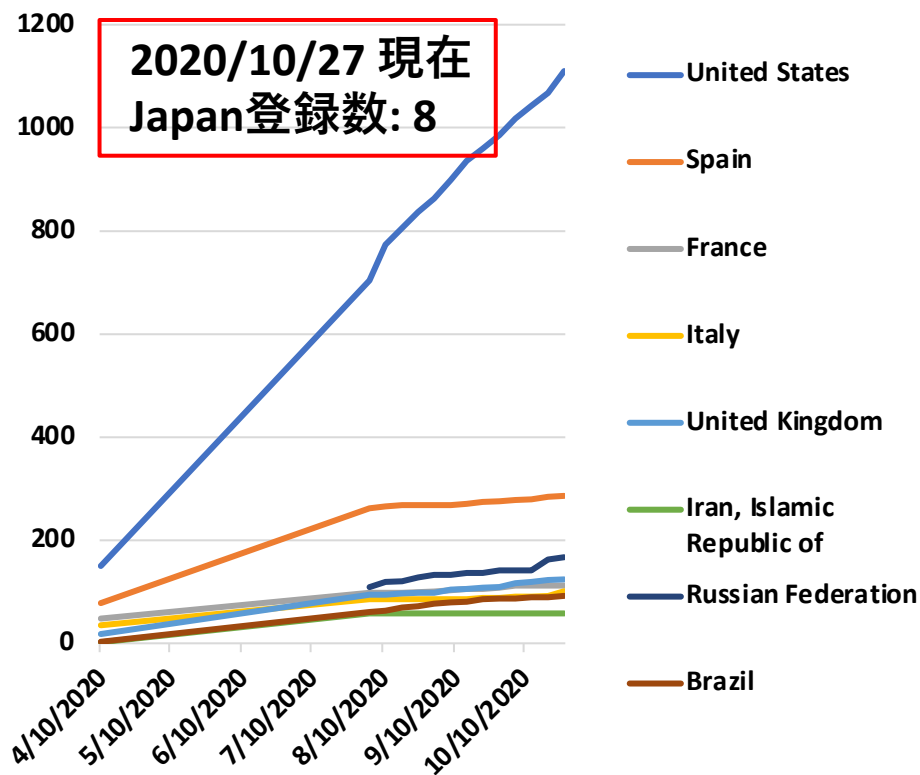
COVID19感染IBD患者数の推移

感染者数上位8カ国

total number (Overall)

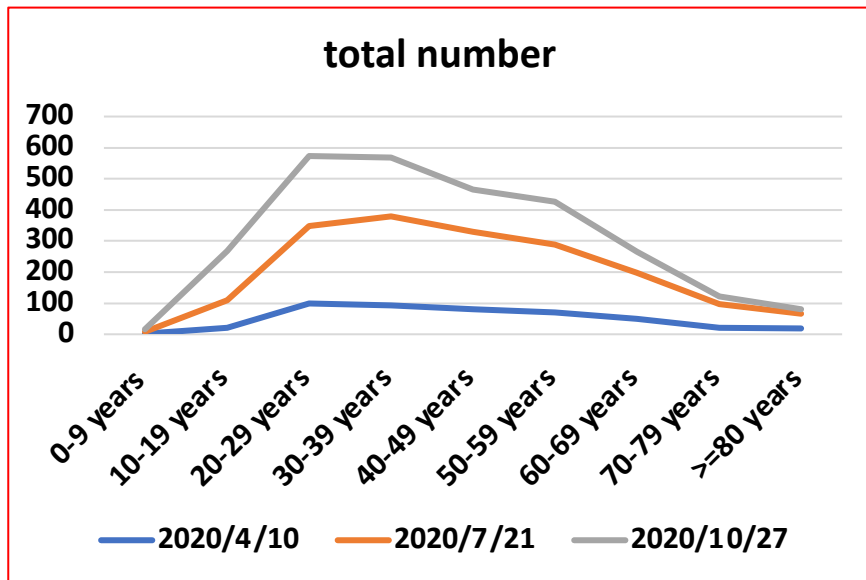


country

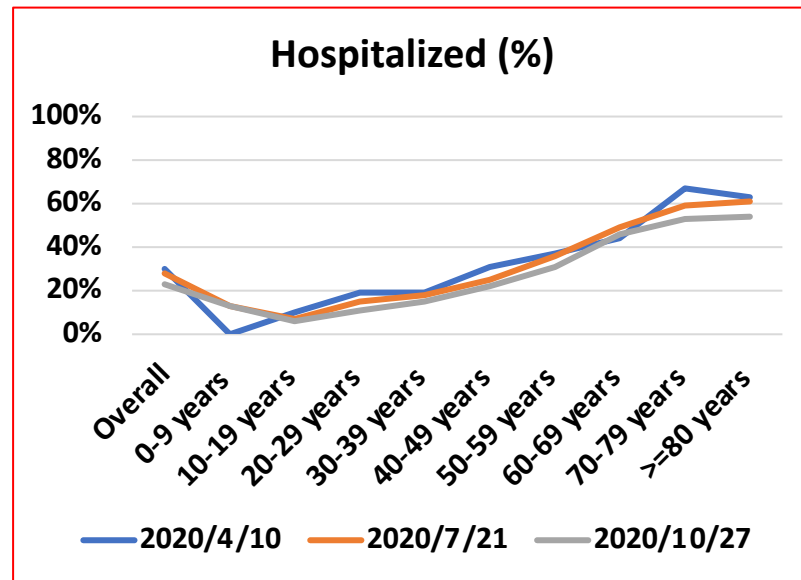


- COVID-19感染IBD患者の登録数は増加傾向が続いている。
- 最近の登録数の増加のほとんどは、アメリカのIBD患者である。
- 一方で、ヨーロッパのIBD患者の登録数は増加が緩徐となっている。
(現在、ヨーロッパではCOVID-19が再流行しており乖離が見られる)

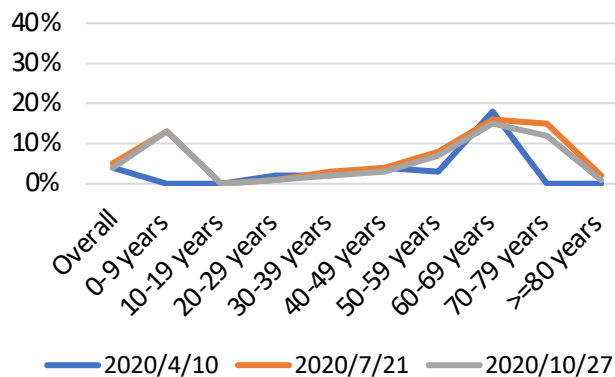
感染患者の年齢分布



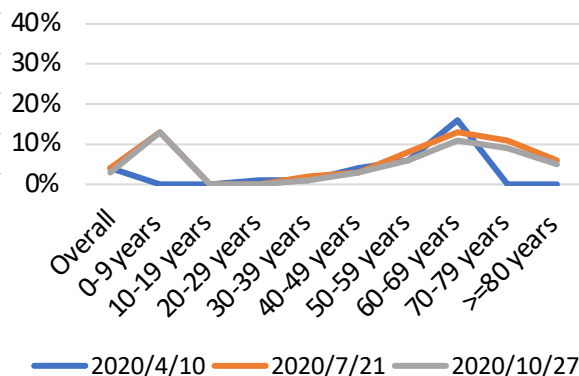
入院患者年齢分布



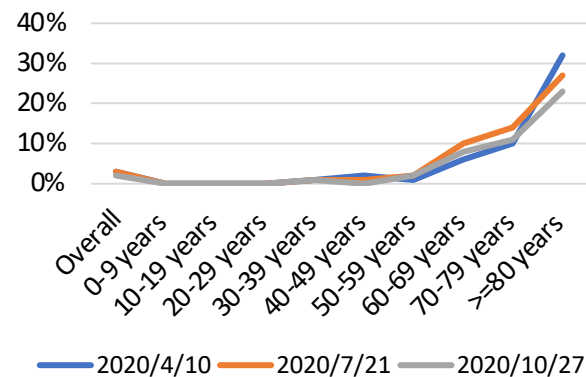
ICU (%)



Ventilator (%)

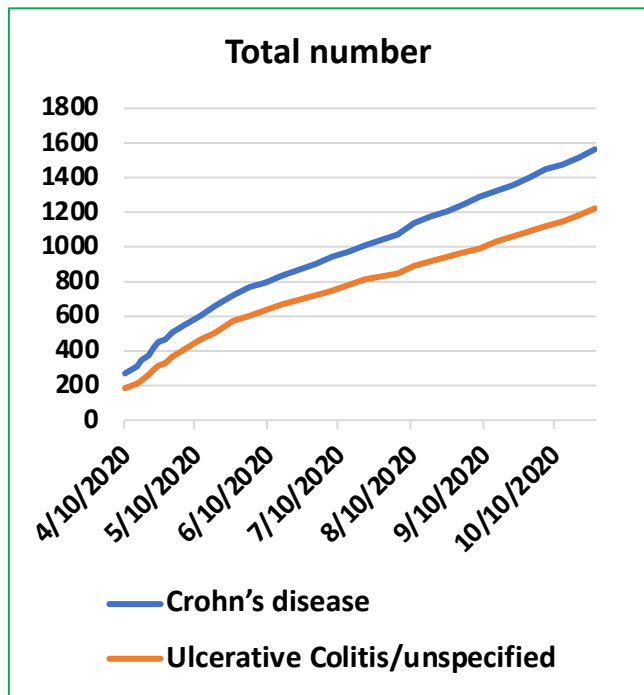


Death (%)

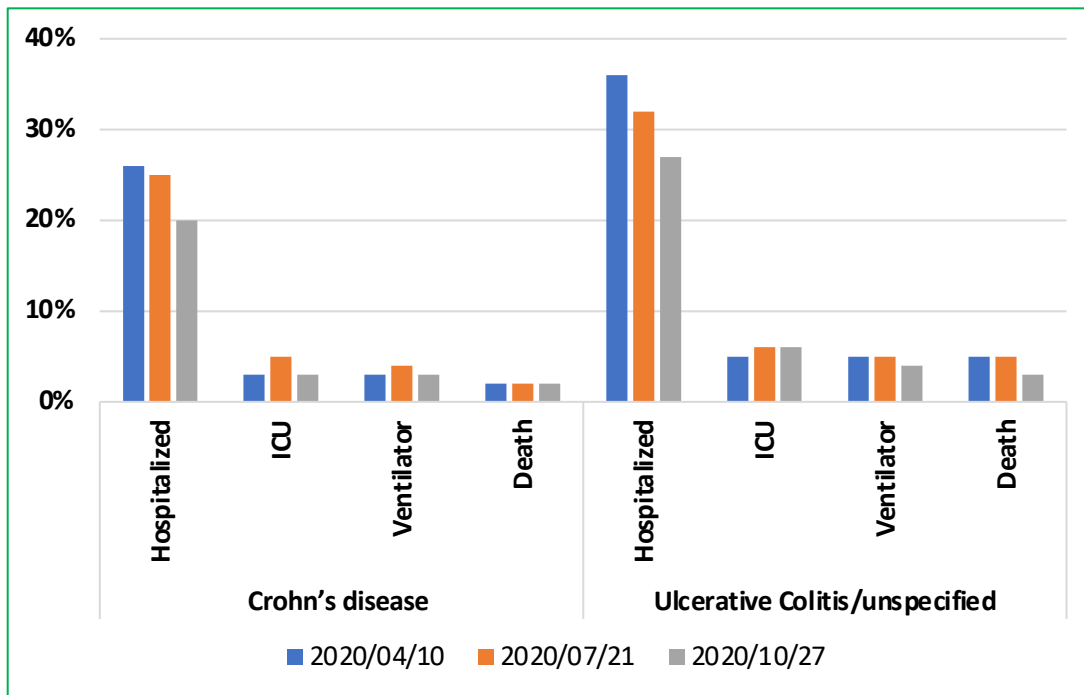


- 0-9歳は母数が少ないため評価が難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少しておらず、60歳以上で高値となる。

疾患別患者数

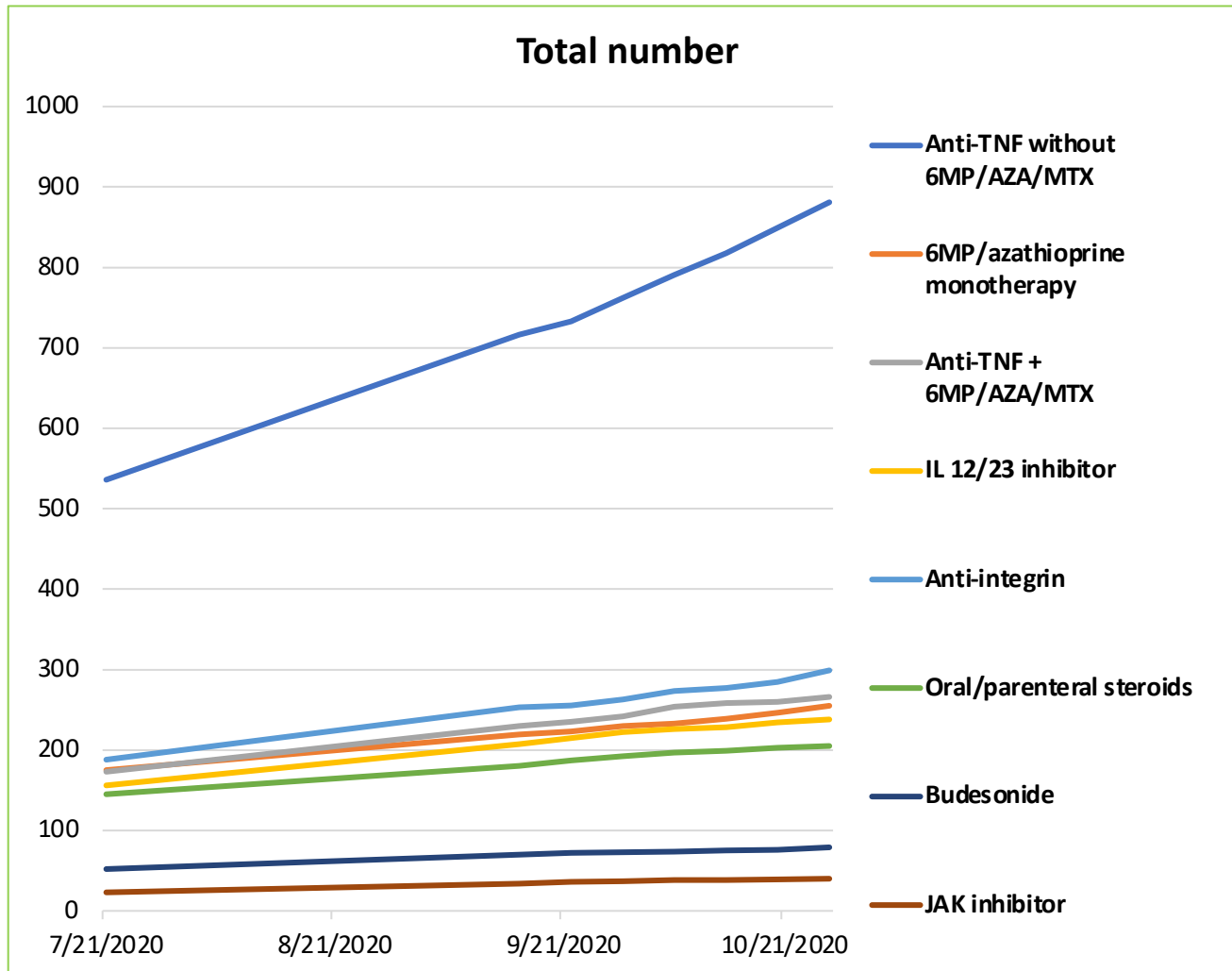


疾患別重症度の割合



- 入院率、ICU管理率、人工呼吸器管理率、死亡率は、クローン病よりも潰瘍性大腸炎の方が高値ではあるが、最近はその差が減少してきている。

治療別の患者数

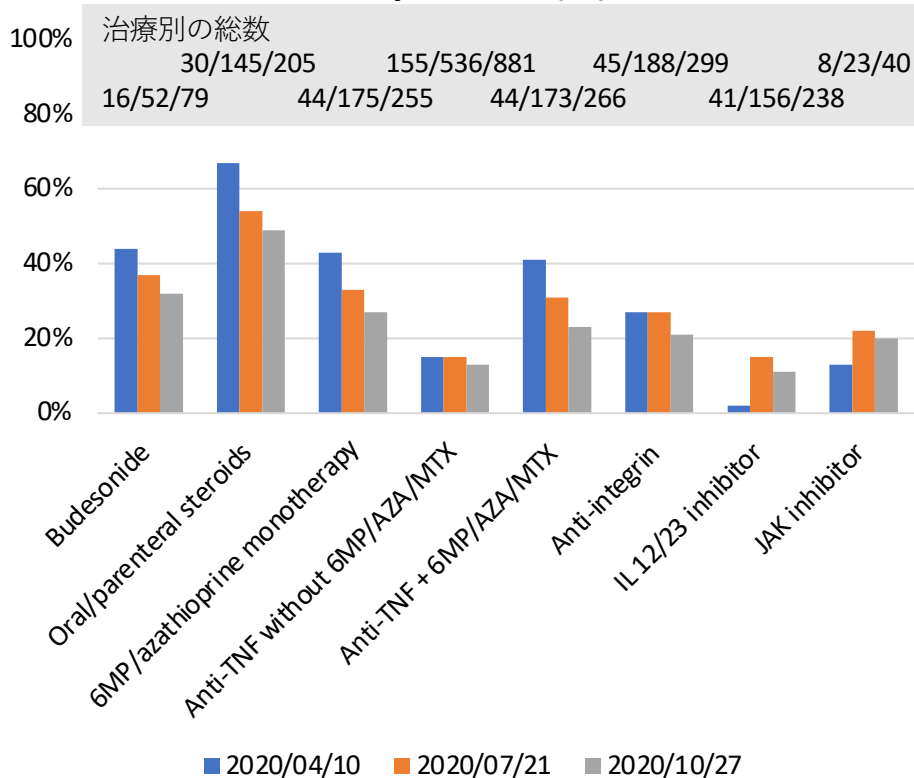


➤ JAK inhibitorの登録数は緩徐に増加してきている。

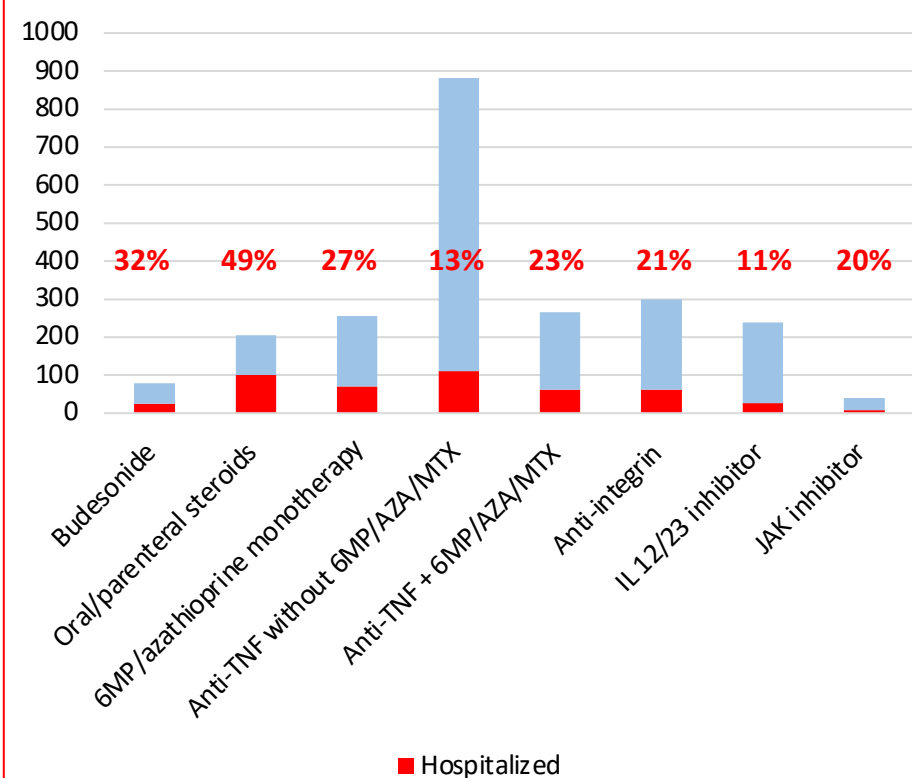
治療別の入院率の推移

治療別の総数と入院率

Hospitalized (%)



2020/10/27



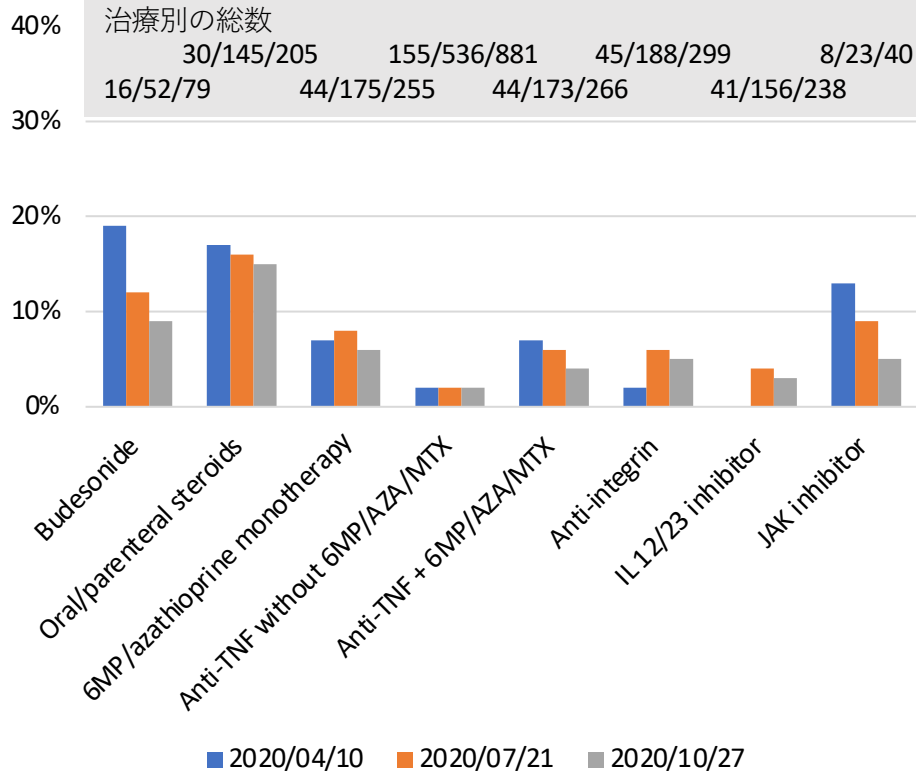
- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値である。
- Budesonideの入院率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較するとやや高値である。

治療別のICU管理率の推移

ICU (%)

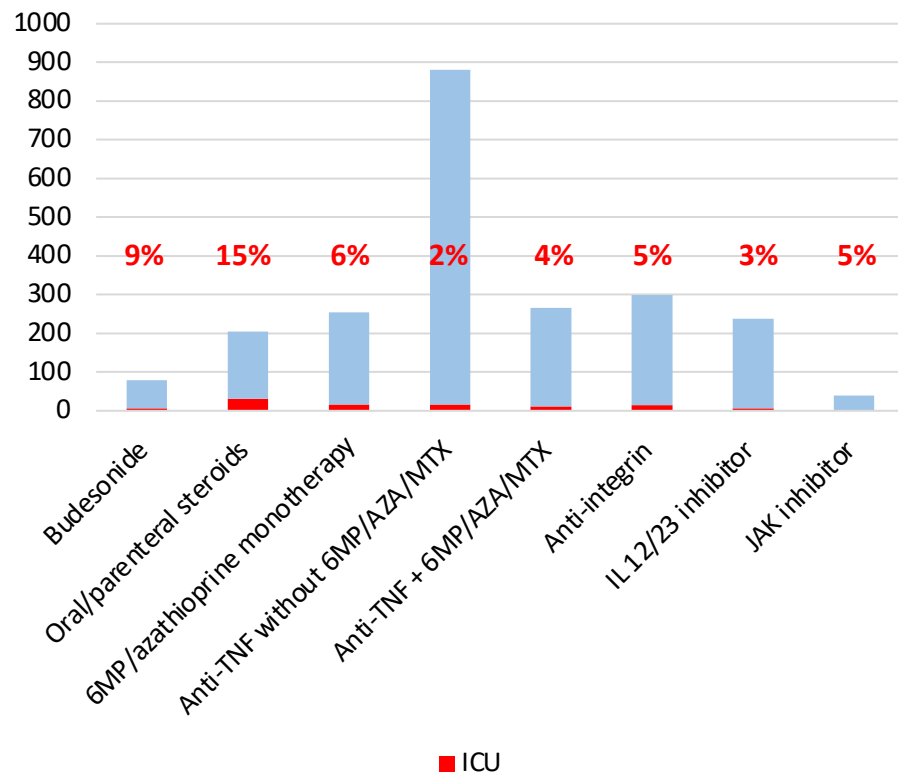
治療別の総数

30/145/205	155/536/881	45/188/299	8/23/40
16/52/79	44/175/255	44/173/266	41/156/238



治療別の総数とICU管理率

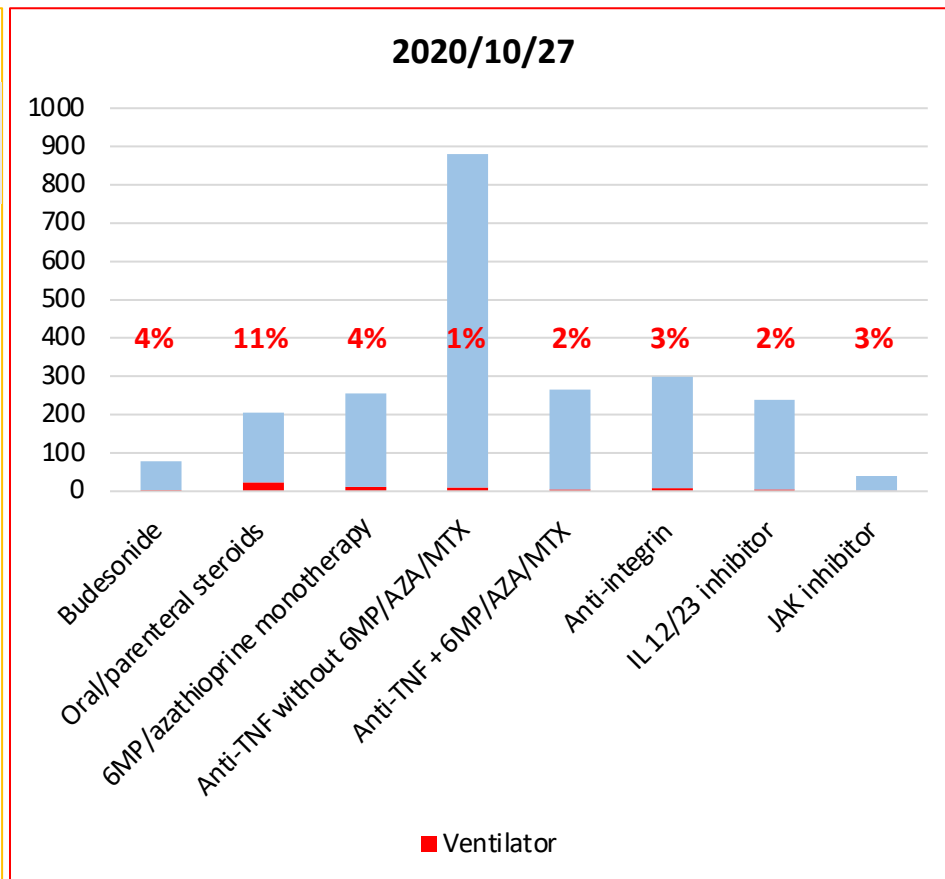
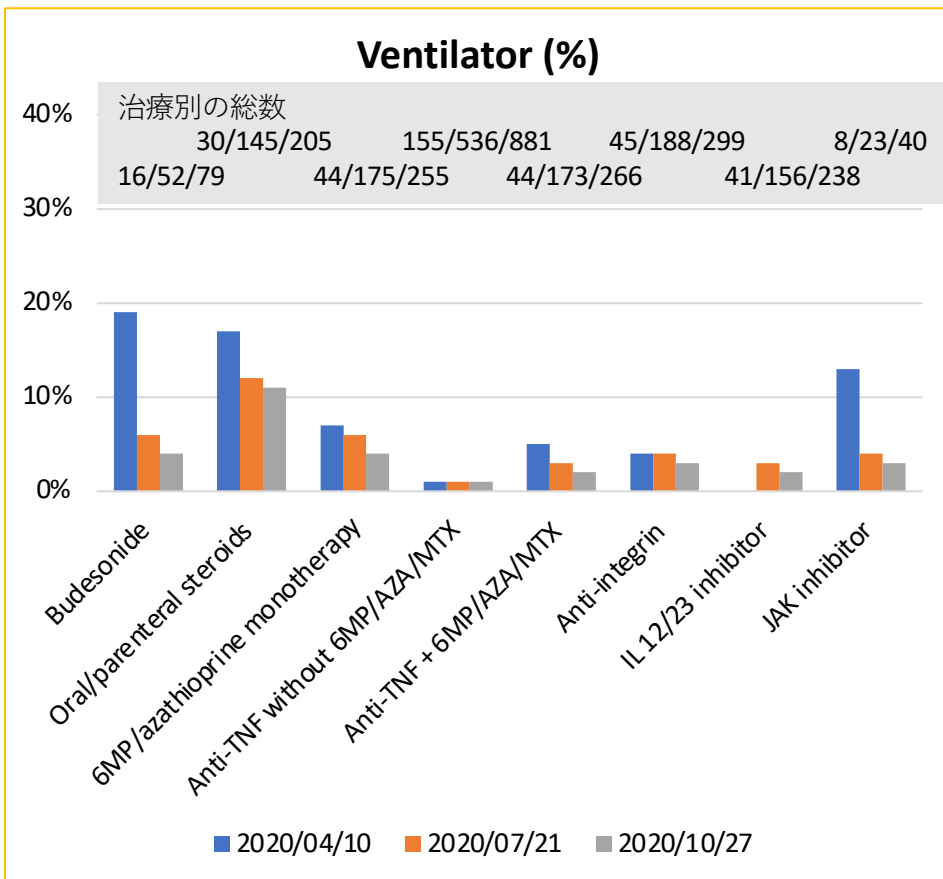
2020/10/27



- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値である。
- BudesonideのICU管理率はOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

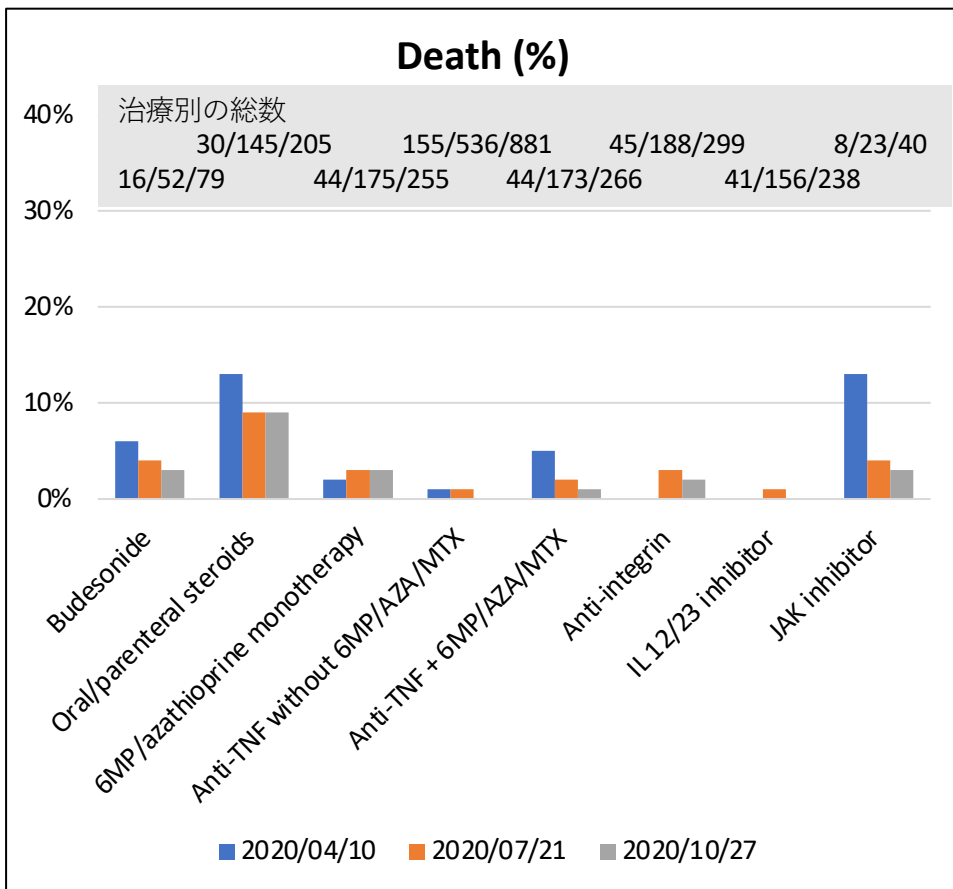
治療別の人工呼吸器管理率の推移

治療別の総数と人工呼吸器管理率

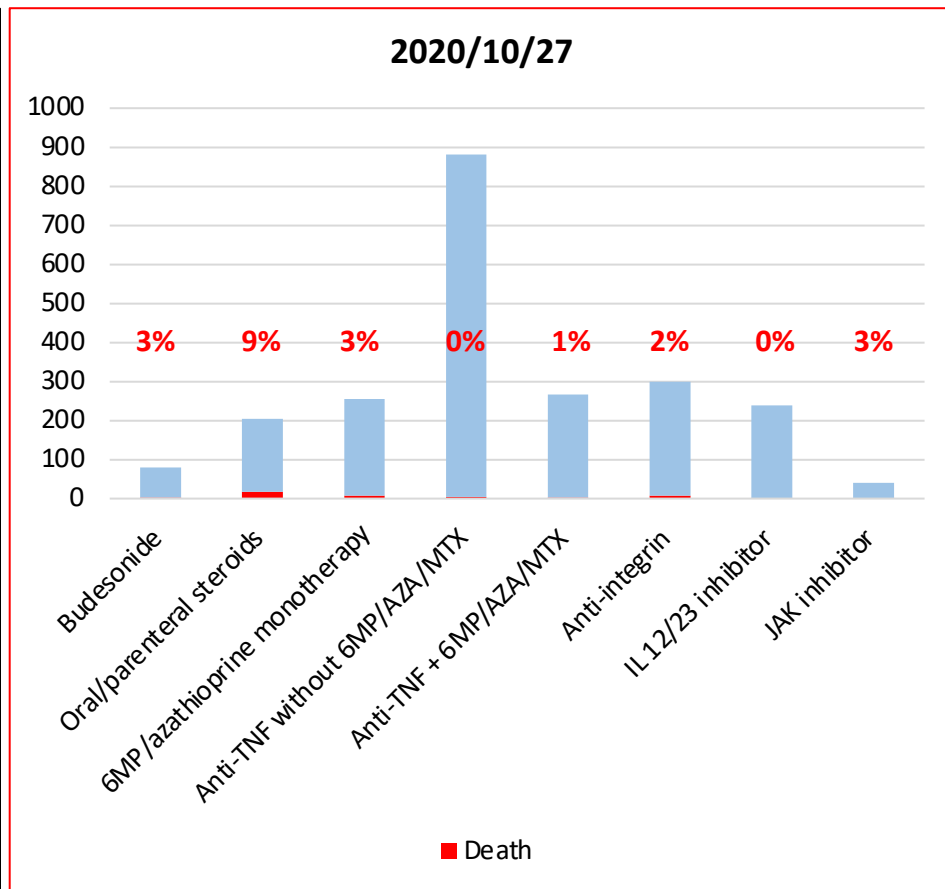


- 人工呼吸器管理率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXで低値である。
- Budesonideの人工呼吸器管理率は他の治療よりはやや高値ではあるが、Oral/parenteral steroidsと比較すると低値である。

治療別の死亡率の推移



治療別の総数と死亡率



- 死亡率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTX、Anti TNF + 6MP/AZA/MTX、IL 12/23 inhibitorで低値である。
- Budesonideの死亡率は他の治療よりはやや高値ではあるが、Oral/parenteral steroidsと比較すると低値である。